

フォトテーリング 指導者の準備と参加者向け説明の内容

国立曽爾青少年自然の家をご利用になる学校団体等がフォトテーリングを実施する上で、必要な準備と当日対応の目安を記載しています。

1. 事前準備

- ①目的、ねらい、活動時間を指導者間で共有してください。
- ②グループ分け（1グループ 4～6人程度がよいでしょう。）

2. 下見・実地踏査（どこで何を見るべきでしょうか？）

- ①スタート・ゴールの場所（はつらつ広場、受付玄関前（事務室前等）が推奨
（他団体との共用もあり） つどいの広場は不可 トイレの場所
- ②危険箇所（道路の横断、崖、斜面など）
- ③ポイント巡視係の立つ場所の確認→別紙地図（引率者用マップ）参照

下見を基に、指導者を分担してください。

- ・スタート、ゴール係（1～2名）
- ・ポイント巡視係（2～4人程度）
- ・救護係（1～2名）

※無線又はスマートフォンで連絡が取れる体制を作りましょう。

（注）キャンプ場周辺は携帯電話がつながりにくい場所があります。

※下見の際、必要に応じて自然の家職員がアドバイスをさせていただきます。

3. 当日の大まかな流れと時間

- ①説明（15分程度）
- ②活動（フォトテーリング 10：1時間半程度、フォトテーリング 20：2時間半程度で調整可能）
- ③まとめ（10分程度）

※ゴールと制限時間について

- ・活動時間を調整するために、制限時間を決めて実施することが可能です。
- ・制限時間以降のゴールは減点するなどの対応で遅刻を防ぐことができます。

①-1 説明 スタート・ゴールの場所で（①-2 行動の仕方の説明とあわせて15分程度）

- ・服装点検（長ズボン、帽子、水分等）・人数確認・健康調査等、ゴール（集合）の時刻の確認。
- ・各班にゼッケン（必要に応じて）、フォトテーリングマップと解答用紙を配布
- ・フォトテーリングの説明
 - i 地図を基に、写真の場所を探そう。別紙参照
 - ii 見つけた場所のクイズを解いて、解答用紙に記入しよう。
 - iii 行く順番は作戦を立ててどこからまわってもよいが、グループ全員で行動すること。
また、全て終わっていなくても制限時間内に必ず帰ってこよう。
 - iv 地図を使った歩き方のコツ！別紙参照

①-2 行動の仕方の説明

- i 必ずグループで行動すること。けんかなどがあっても折り合いをつけよう。
一人だけでの行動は行方不明や事故の危険が高まります。
- ii 道路の歩き方と渡り方→右側通行の原則と、車道への飛び出しに注意。
- iii 自然保護と他の活動者→曽爾高原は、遊歩道以外は歩けません。

一般の観光客、他団体に配慮しよう。

iv 下り坂、段差に注意 走らず歩くこと、石を落とさないこと。

→斜面、段差で転ぶ、捻挫等のけががあります。

v 道に迷ったら??

→どのグループも道に迷う可能性があることを意識する、グループで分かれられないこと。

→今来た道に戻り、必ず分かる場所（先生がいる場所、目印がある場所など）まで戻ろう。

→トラブルがあった場合は、最寄りの先生へ伝え、指示を仰ぐこと。

vi トイレ、熱中症、落雷、雨天（霧）ハチ・蛇など季節に応じて注意をすること。

①-3 スタートの方法

i ①-1、①-2 の説明の終了後、トイレをすませ持ち物の確認をする。

ii 3分程度作戦タイムをとって、スタートする。

（このタイミングまでに、ポイント巡視係は移動すること）。

→一斉スタートまたは間隔をあけてのスタートも可能ですが、2 クラスを超える場合は、一斉スタートがおすすめ。間隔を空ける場合は、ゴールの時間を調整すること。

②活動中

②-1 ポイント巡視係の動き

・可能な範囲で該当箇所を通過したグループを確認しましょう（行方不明があった場合などに参考になる）。

→特に、亀山へグループで登る場合は、出入り・通過の確認を徹底すること。

・声掛けをして体調やグループの様子を確認し、必要ならば対応をしましょう。

・全グループがゴールしたことを確認してから、持ち場を離れましょう。

②-2 スタート、ゴール係

・ゴール時にグループごとに点呼と、ゴール時間を解答用紙に記入しましょう。

休憩や、トイレなど、必要に応じた指示をします。

ゼッケン、フォトテレーリングマップと解答用紙を回収し集計用紙に記入してください。

必要に応じて、模範解答を配布してください。

②-3 道迷い、トラブルが発生したら

・トラブルが発生したら速やかに事務室へ連絡をしてください。

スタート・ゴール係や救護係等のスタッフが複数いる箇所の方が、搜索や対応をしてください。

③まとめ（必要に応じて）

活動の目的に対して、感想や発見したことを発表しましょう。

順位をつける場合は、順位の発表をしましょう。

全ての用具がそろっているかを確認して、事務室へ返却してください。

別紙（フォトテーリング グループ用）

1. フォトテーリングのやりかた

①スタートしたら、1～10(ショート)または1～20(ロング)の写真の場所を探してください。

（何番からスタートしてもかまいません。）

地図上ではA～J(ショート)、ア～ト(ロング)で記されています。

※写真のすみずみまで、じっくりと観察してください。写真の中にヒントがかくれています。

②(ショート)ポイントに辿り着いたら、

解答用紙に写真の番号(1～10)に合った地図の記号(A～J)を記入し、問題に答えます。

(ロング)ポイントに辿り着いたら、

解答用紙に写真の番号(1～20)に合った地図の記号(ア～ト)を記入し、問題に答えます。

2. 地図を使った歩き方のコツ！

①おおよその歩くルートをグループで考えて出発すること。

近いところ、分かりやすい場所、遠いところ、分かりにくそうな場所、トイレの場所、体力などを考え、出発すること。

必ずしも最初に決めたルートをずっと歩く必要はなく、歩きながらどれぐらいの距離を自分たちで歩けたのかを確認し、残り時間と行けるポイントを見直すことで、ゴール時間に間に合わせることができます。

②今、どこにいるのか？をいつも考えておく。

「つどいの広場」、「はつらつ広場」、「お亀池」など名前がついている場所は「今、どこにいるか？」が分かりやすいポイントです。自分たちはマップ上のどこにいるのか？を常に意識しましょう。

③どこを歩いていくのか？

作戦タイムや適宜マップを確認して、「どこを歩くのか」をマップから読み取り、ルート上の特ちょう（広場がある、建物がある、など）を確認します。

④正しいルートを歩いているか？

考えたルート上をしっかりと歩けているか、マップと、周りの風景（ルート上の特徴）を確認しながら歩くことが大切です。

周囲の様子とマップの様子が違う場合は、必ず分かる場所まで戻り、もう一度やり直しましょう。

②～④を繰り返すことで、自分たちが進みたい場所に進むヒントになります。